

平成 30 年度日本音響材料協会・技術講習会

「集合住宅のリフォームと音」

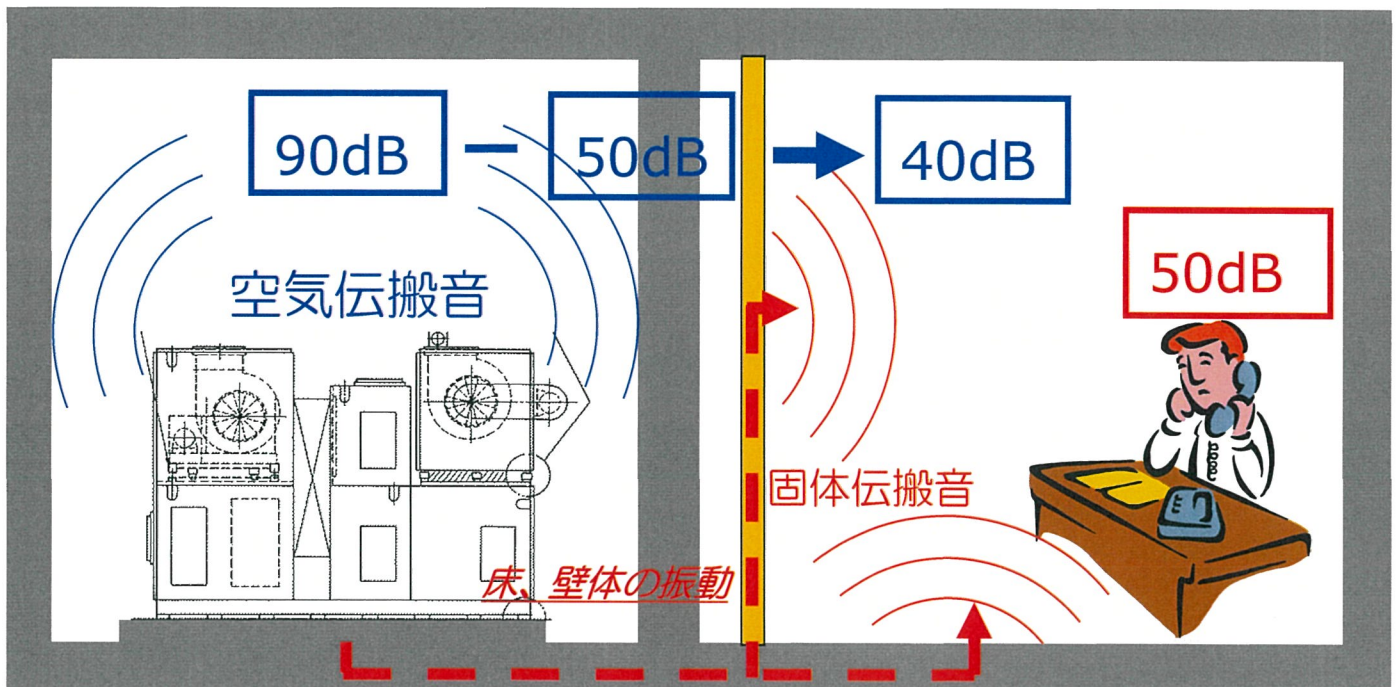
一般社団法人日本音響材料協会

開催日 平成 30 年 11 月 20 日(火) 10:00～17:00

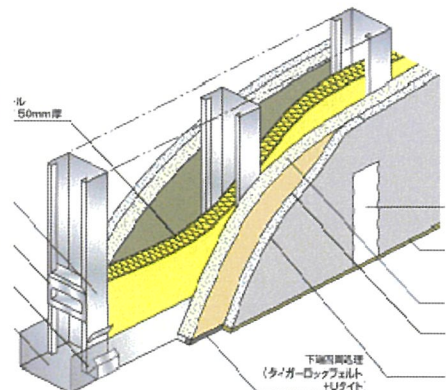
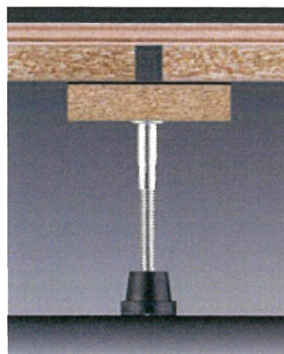
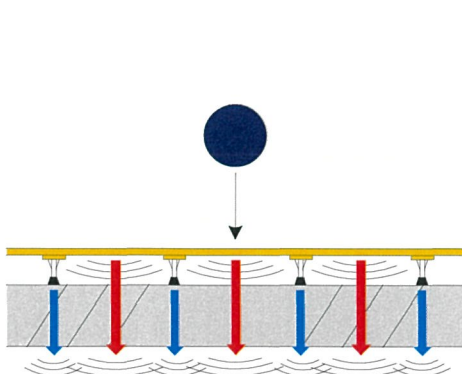
場 所 吉野石膏(株) 虎ノ門ビル 大会議室

地球環境の保全を主目的として、建築分野でも建物のサステナブル化が強く推進されている。住宅を対象とした国の施策も、ストック住宅の有効活用が強く推進され、建築躯体を残しつつ、機能や空間性能を向上させ継続利用することが強力に要請されている。この国の方針を建物の音響性能、音響技術、居住者評価の観点から概観すると、建築物(空間)の居住者満足度を維持する、又は高めるためには、建築業界のかんりの努力(技術開発)、施工精度の向上、材料の開発など、多くの項目への対応や検討が必要である。

本講習会では、当協会に関わりのある音響材料メーカーや測定機関、コンサルタント会社、ディベロッパーの方々等に現況の理解を深めていただけるように、経験豊富な第一線研究者の講師陣が国内ストック住宅の現況、リフォーム時の音に関わる問題点及び技術的課題等について詳しく解説致します。



* 空気伝搬音対策だけでなく、固体音伝搬対策として防振か、浮き遮音構造を採用する必要ありか？



タイムスケジュール……………〈 各講演時間に質疑、5 分間を含みます〉

1. 住宅整備の将来と本講習会の趣旨 (日本大学理工学部 井上勝夫氏) 10:00～10:20(20)

- (1)ストック住宅の現況と将来の方向性について
- (2)集合住宅での音環境性能向上の重要性
- (3)リフォームにおける音に関する不具合の状況

----- 本 題 -----

2.リフォームと音の関わり (日本大学理工学部 井上勝夫氏) 10:20～11:50(90)

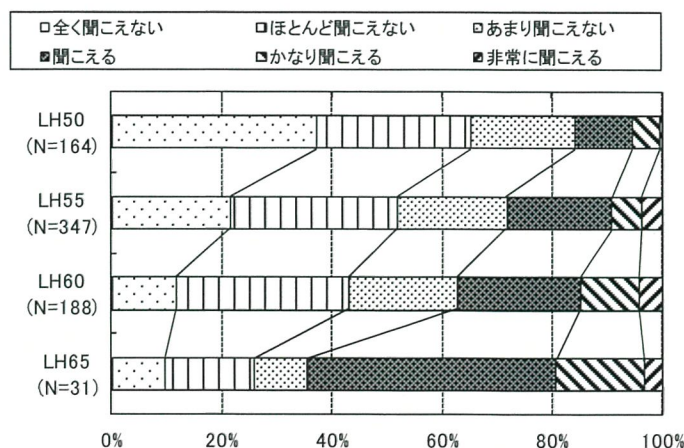
- (1)リフォームの部位と音
 - ・壁、窓、床、給排水・共用設備等のリフォームと音
- (2)リフォームに対する音響設計の考え方
 - ・壁、窓、床、給排水・共用設備等のリフォームの考え方
- (3)リフォーム時の音に関わる技術的課題
 - ・性能向上の可能性、性能の確認(測定法)方法について

----- 昼 食 休 憩 (11:50～12:45) -----

3. リフォーム時の音響性能向上技術 (鉄建建設(株) 中澤真司氏)12:45～14:45(120)

- (1)壁のリフォームと音
 - ・仕上げ壁の空気音遮断性能
 - ・リフォームによる空気音遮断性能向上の限界
- (2)窓のリフォームと音
- (3)床のリフォームと音
 - ・コンクリート躯体床構造の床衝撃音遮断性能の確認
 - ・リフォームによる床衝撃音遮断性能向上の限界
- (4)天井のリフォームと音
- (5)給排水・共用設備等のリフォームと音

----- 休 憩 (14:45～15:00) -----



4.リフォーム時に発生しやすい苦情の原因と対応

(住環境総合研究所 大川平一郎氏) 15:00～17:00(120)

(1)発生しやすい苦情

- 1)リフォーム前後での音響性能変化に関わる苦情
- 2)音響材料の時の音響性能値への理解不足による苦情
- 3)施工条件が音響性能に係わることへの理解不足による苦情
- 4)音響性能の測定法、評価法への理解不足による苦情

(2)苦情発生低減への対応

- 1)リフォーム前後での音響性能による性能の確認
 - ・模擬生活音による性能測定
 - ・壁、床の水回りに関わる音響性能の確認
 - ・性能測定が不可能な場合の対応
- 2)音響材料の音響性能が持つ意味と使用条件との関わり
- 3)JIS 等による性能評価値の意味の確認
- 4)裁判の事例からの問題点の抽出

以 上